

## イオンモール株式会社が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、イオンモール株式会社が発行する第 25 回サステナビリティボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2020 年 9 月 24 日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）および、②環境改善効果があること（グリーン性）の双方を有する債券です。

本債券による調達資金は、本法人が国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）のサステナビリティボンド・ガイドラインにおいて言及しているソーシャルボンド原則及びグリーンボンド原則の両方に定められている 4 つの要素（1.調達資金の使途、2.プロジェクトの評価と選定のプロセス、3.調達資金の管理、4.レポーティング）に関する方針を記載した「サステナビリティボンド・フレームワーク」を策定し、本フレームワークに則り、新型コロナウイルス対策・東日本大震災復興支援・海外モール建設・国内モール建設資金へ充当いたします。

また、本債券の発行にあたって策定した「サステナビリティボンド・フレームワーク」について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、サステナビリティボンド・ガイドラインなどの原則との適合性に対する外部評価（セカンドオピニオン）を取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上